



緑中PRIDE

～踏襲から改善へ～



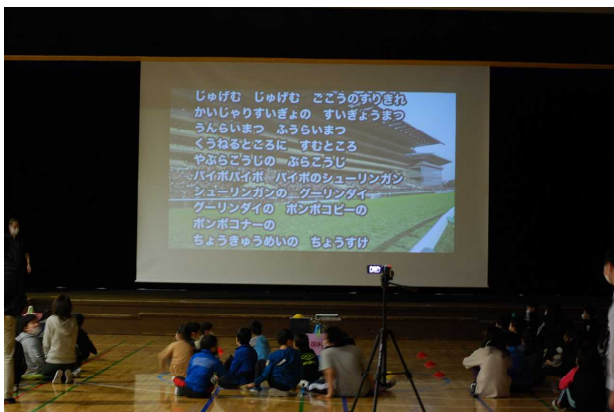
「旭川一のあいさつ」

「はじめのある言動」

「深い学び合い」

小中連携・冬のお楽しみ会

12月3日(金)ナナカマド学級・プラタナス学級では、校区の小学生を招待して、「冬のお楽しみ会」を実施しました。例年この時期に小学生との交流を目的に実施していましたが、昨年はコロナで中止となり2年ぶり7回目の開催となりました。中学生は1学期末から、事前に招待状を作成して小学校に届けたり、当日行うゲームの準備を行ったり、小学生が楽しく活動できるように工夫を凝らした準備を行っていました。当日は保護者の方にもご来校いただき、子どもたちが楽しく活動している様子を参観していただきました。自分で考え行動し、優しいまなざしで小学生のサポートを行っている生徒達の姿に成長を感じました。



令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析！

1学期にも「全国学力・学習状況調査」についての自校分析についてお知らせいたしましたが、文部科学省より正式な結果が届きましたので、今一度学校としての成果と課題、改善策につきましてお知らせいたします。今後も、学校全体としてさらなる学力向上に向けた取組を推進してまいります。ご家庭でのご理解とご協力もよろしくお願いいたします。

国語科

○成果となつてあらわれたもの

- ①「話し合い」の中で話題や方向性、相手の質問の意図をとらえることにかかわる項目。
- ②「話し合い」の中で適切な発言について考えることにかかわる項目。
- ③「読むこと」において、登場人物の言動の意味を考えて、内容を理解することにかかわる項目。
- ④「言語についての知識・理解・技能」において、文脈にあわせて漢字を書いたり読んだりすることにかかわる項目。

●課題と考えられるもの

- ①「読むこと」において、文脈の中における語句の意味を的確にとらえ理解することや、文章に表れているものの見方や考え方をとらえて、自分の考えをもつことにかかわる項目。
- ②「書くこと」において、一度書いた文章を推敲する際に、語句や文の使い方、段落相互の関係について考えることにかかわる項目。
- ③「言語についての知識・理解・技能」において、相手や場に応じて敬語を適切に使うことにかかわる項目。

★改善策

- ①文学的な文章を語句の意味に注目しながら読む活動を通して、文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解する力を身に付けていく。
- ②文学的な文章を読んで考えたことを記録したり、作品の印象を伝え合ったりする言語活動を通して、自分の考えを形成する力を身に付けていく。(日常の読書活動とも関連させて)
- ③自分が書いた文章について、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめるような学習活動を通して、分かりやすい文章に整える力を身に付けていく。
- ④敬語のもつ働きを理解するとともに、敬語に関する体験的な知識を整理し、実用的な文章を書くことなどの学習活動を通して、相手や場に応じた言葉遣いについて適切に使う力を身に付けていく。

数学科

○成果となってあらわれたもの

- ①特に数学的な見方や考え方を問う問題における正答率が高かった。日常の授業における問題解決の過程を重視している成果とみられる。
- ②図形領域における関係性を見つけたり理由を説明したりする問題における正答率が非常に高かった。

●課題と考えられるもの

- ①事象の特徴を的確に捉え、関数の意味を理解しているかを問う問題は過去の問題と同じような問題ではあったが、正答率は低かった。
- ②整式の加法と減法の計算ができるかどうかをみる数学的な技能を問う問題における正答率が低く、簡単な計算のミスや3学年で学習している内容と混同した解答が見られた。
- ③記述式の問題における無解答率が高く、何を答えてよいのか分からない生徒もいた。

★改善策

- ①無解答率を低くするためにも日常の授業において「自分の考えをもつ」「自分の考えを表す」など、課題意識をもった活動を習慣化することが必要である。
- ②「関数」の意味を問う問題については日常的な事象の中にある二つの数量の変化や対応の様子を調べ、それらの関係を見いだす活動を通して、関数の意味を理解できるように指導することが大切である。その際、独立変数と従属変数との違いを意識して「…は…の関数である」という形で表現できるように指導し、1学年で学習した内容を振り返りながら繰り返し関数の意味について触れることが必要である。
- ③これまでの授業と同様、主体的・対話的に問題解決の過程を重視し、思考力・判断力・表現力等につながる授業を継続的に展開することが求められている。さらに、基本的な知識・技能をはぐくむためにも問題演習等の時間の確保したり家庭学習の充実を図ったりすることで資質・能力を確実に育成していく必要がある。

生徒質問紙

●課題と捉え教育活動の改善充実を図るポイント

- ①ICTを活用した学習については、有用性について自覚し、興味をもって取り組んでいる生徒の割合が高いことから、引き続き、学校においてもタブレットを有効的に活用した授業を展開する。
- ②「自分には良いところがあると思う」生徒や、「将来の夢や希望を持っている」生徒の割合をさらに高め、自己肯定感を持たせる教育活動の充実を図る。
- ③「規則正しい生活を送っている」生徒の割合をさらに高め、あわせてSNSの利用状況が、「1日2時間以上」の生徒や、「勉強について不安を抱えている」生徒の割合を少なくしていく取組として、教育相談の充実を図り、「計画的に学習を続けることができる」生徒の割合を高めていく。
- ④「新聞を読んでいる」生徒、「地域の行事に参加している」生徒の割合を高め、社会性を身に付けることができるように、地域と学校が連携した教育活動の充実を図る。